

重要文化財大安寺本堂ほか7棟保存修理事業の経過報告

現在までの経過報告（12月末 現在）

《本堂》

令和2年8月下旬 屋根下地 解体作業

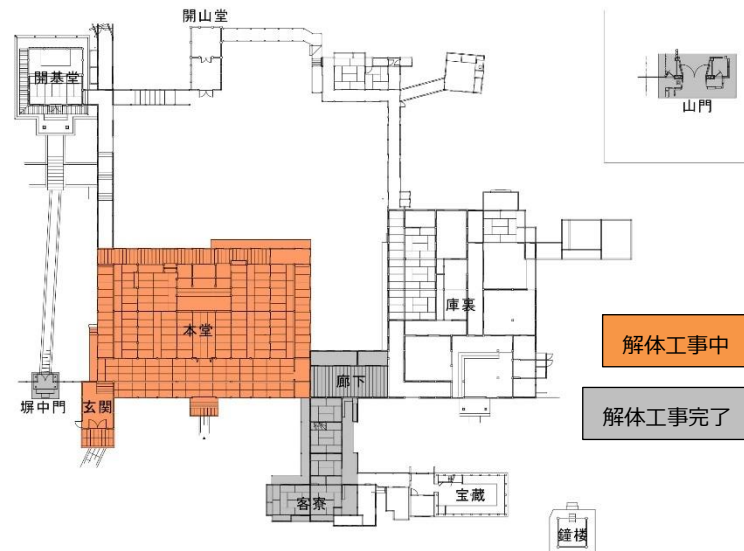
10月～ 小屋組 解体作業

11月～ 内部木部 解体作業

《山門》

令和2年6月 素屋根 建設完了

8月 木部 解体完了



本堂・玄関の屋根解体作業

5月に素屋根が完成してから、まずは瓦をめくる作業が進められました。そして瓦の下地が取り外され、いよいよ骨組部分の解体に進んでいます。本堂の大きな屋根は、垂木や母屋など一つ一つの部材が組み合わさって出来ています。その木材を手作業で取り外していきますが、破風板のような大きい部材は、素屋根に設置されているクレーンで運び降ろしていきます。



葺瓦 解体完了



屋根下地 解体完了



野垂木 取り外し中



妻側木部 解体完了



破風板 取り外し中



妻側木部 解体中



玄関 銅板葺解体中



玄関 屋根下地解体中

本堂 漆喰壁掻き落とし

本堂内部は土壁の漆喰仕上げになっています。土壁のため、経年で土の粘着力が弱くなり、壁下地材から剥がれ落ちている箇所がありました。今修理では、土壁の塗り直しも行います。

まずは、漆喰壁の掻き落とし作業が行われ、コテを使いながら丁寧に掻き落としていきました。



漆喰壁 掻き落とし中



仏壇漆喰壁解体 完了

本堂 床板の解体

今回の修理では、床下の木材の補修工事も行います。床下の木材は建物を支える上でも大事な部分になります。本堂に敷かれている畳を全て剥がし、床板及び、その下の横架材の取り外しを行います。現在は正面の広縁部分の解体が完了したところです。



広縁 畳取り外し中



広縁 床板取り外し中

山門 解体工事完了

山門は6月上旬に素屋根の建設が完了してから木部の解体が進められ、8月下旬には解体工事が完了しました。現在は基礎だけの状態になっています。

解体した古材は整理した上で保管されていますが、今後はこれらを再利用できるように傷んでいるところを補修・補強していきます。文化財の修理においては、建設当初に使用していた材料を後世へ残すことも大事にしているので、これらも大切な作業になります。



修理前写真(正面)



棧瓦葺 解体中



屋根下地 解体完了



小屋組 解体中



本柱 取り外し中



木部 解体完了

今後工事の予定

今年も引き続き、本堂の解体の続きから始まります。天井板や仏壇まわりの木部の解体、玄関の構造体の解体を進めていきます。

山門は解体した古材の補修・補強のあと、組立工事に入ります。来年度に工事完了の予定で、大安寺の保存修理事業の中でも1番早い完成になります。

さいごに

日頃、山門下の参道においては山門周辺道路の見通しが悪くなり、ご迷惑をおかけしているところではありますが、今年も不特定多数の工事関係者及び資材運搬車の往来が多くなると考えられます。今後さらに慎重な往来に心掛けるよう現場内で徹底いたしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

大安禅寺

設計監理：公益財団法人文化財建造物保存技術協会（東京都荒川区）

工事請負：1期工事・2期工事 松浦建設株式会社（石川県能美市）